

事業評価シート

番号 0660090 - 001

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。				
事業の内容	総合展示の維持・管理と特集展示、歴博セレクション及び企画展の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究				
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客			
	どのくらい (具体的数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和2年度 (実施内容)	総合展示の維持・管理および展示替えと特集展示、歴博セレクション及び企画展の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	57,694	1,820	70,720	2,080	50,700	1,560
パートタイム(嘱託職員)	2,678	260	5,408	520	9,373	910
パートタイム(アルバイト)	1,656	360	1,692	360	1,620	360
計(A)	62,028	2,440	77,820	2,960	61,693	2,830

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		158,469	272,401	165,217
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	光熱水費	23,203	19,519	18,291
	資料購入費	3,170	88	2,940
	資料保存処理業務委託	1,242	2,145	2,200
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		158,469	272,401	165,217

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	220,497	350,221	226,910

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	633
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	5,553	4,042	486
その他	478	4,836	15,173
計(F)	6,031	8,878	16,292

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	214,466	341,343	210,618

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	36,609	79,470	81,922
受益者負担額(千円)	5,553	4,042	486
受益者負担率(%)	2.5%	1.2%	0.2%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	5,858	4,295	2,571

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	特集展示・歴博セレクション・企画展回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	6	6	6
実績値	8	5	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	常設展示一日平均観覧者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	80	80	80
実績値	72	87	0※
達成状況	×(未達成)	○(達成)	—

※常設展示のスペースを大河ドラマ館にしていたため、常設展示は未実施

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えるとともに、魅力を発信する施設として、市民・社会のニーズに応えている。 市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えるとともに、魅力を発信する施設として、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	資料の収集・保存及び調査・研究など短期的な収入に結びつきにくい業務があるが、長期的には有効と考えられる。 歴博ボランティアを導入し、総合展示室における体験指導及び補助と展示解説等を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信でき、トリップアドバイザー日本HP上で、当館は岐阜市内観光スポット125件中11位に位置している。 また、令和2年1月11日から令和3年2月14日まで、本館2階に「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」が設置されたのに合わせ、特別展示を行った。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	平成17年3月にリニューアルして14年が経過した。その間、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信できた。 今後は総合展示室の更新も見据えながら遂行したい。 一方、開館以来36年間、岐阜市とその周辺地域を中心とする歴史と文化に関わる資料を中心に収集・保存している。

事業評価シート

番号 0660090 - 002

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館特別展				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。	
事業の内容	特別展の開催、特別展に関する資料等の調査・研究	
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客
	どのくらい (具体的数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日
令和2年度 (実施内容)	特別展「麒麟がくる」及び特別展「壬申の乱」を開催した。 特別展「用の美」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、翌年度に延期した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	16,484	520	8,840	260	21,125	650
パートタイム(嘱託職員)	2,678	260	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	19,162	780	8,840	260	21,125	650

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		31,447	16,960	42,777
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	開催負担金	22,540	16,960	39,749
	委託料等一式	6,958	0	1,220
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		31,447	16,960	42,777

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	50,609	25,800	63,902

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	1,455	0	273
その他	3,524	5,173	15,474
計(F)	4,979	5,173	15,747

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	45,630	20,627	48,155

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	15,612	11,480	19,225
受益者負担額(千円)	4,979	5,173	15,747
受益者負担率(%)	9.8%	20.1%	24.6%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	2,923	1,797	2,505

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	特別展の観覧者数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21,500	21,400	50,400
実績値	15,612	11,480	19,225

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	特別展の市外観覧者の割合		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	50.0	50.0	50.0
実績値	45.7	46.0	73.4
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民に質の高い歴史、文化に身近に触れる機会を提供することで、学校教育、生涯学習に資するとともに、岐阜市を誇りとするシビックプライドを醸成し、あわせて市外からの集客を図る。 国内の国宝、重要文化財から国外の貴重な文化財まで公開できる施設及び人材を市が有しているとともに、深く教育に関わり、市の文化行政と密接な連携を図る必要性から、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	社会教育施設として、短期的な収益の向上のみを目指すのではなく、長期的な教育的効果の向上が重要である。 特別展開催にあたって、新聞社等より出資を得て実行委員会を組織して運営している。また、市民ボランティアの活用を図り事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の岐阜市を誇りとするシビックプライドの醸成、岐阜市の友好都市をはじめとする諸外国の文化と歴史の紹介と理解、さらに岐阜市に係る歴史と文化を発信する観光拠点施設として有効性が高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各特別展実行委員会は経費を基に算出した特別展観覧料を設定し受益者(観覧者)に負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とする議決を行い、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深めることができた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示を通じ発信できた。 なお、学校教育との連携(博学連携)を前提としたものも多く、今後も効果的に展開していきたい。

事業評価シート

番号 0660090 - 003

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を行う。	
事業の内容	一般および子ども・親子を対象にした、郷土の伝統文化に関わるものづくりや教養講座を開催するとともに、小学校の授業支援を行う。	
事業の対象	何を	岐阜市の歴史や文化を学習する機会の提供
	誰に (対象者・対象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	9講座
令和2年度 (実施内容)	古文書入門・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室・土曜講座・まちなか博士サポート講座・出前授業・特別講座を開催する予定だったが、古文書入門・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となった。また、歴博ボランティアを導入し、市民が学習成果を活用できる場を提供したり、中高生ボランティアによる展示説明等を行い、地域の歴史と文化を学ぶ場を提供する予定だったが、同様に中止となった。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,242	260	8,840	260	8,450	260
パートタイム(嘱託職員)	2,678	260	2,704	260	2,678	260
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,920	520	11,544	520	11,128	520

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		3,550	8,507	5,797
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	博物館だより印刷	412	463	460
	研究紀要印刷	678	0	369
	館藏品図録印刷	0	0	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,550	8,507	5,797

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	14,470	20,051	16,925

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	1,268	1,959	206
計(F)	1,268	1,959	206

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	13,202	18,092	16,719

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	985	1,100	47
受益者負担額(千円)	1,268	1,959	206
受益者負担率(%)	8.8%	9.8%	1.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,403	16,447	355,723

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	9	9	9
実績値	8	8	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,180	1,180	1,180
実績値	985	1,100	47
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学習指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、社会教育に対する市民・社会のニーズに答えている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子どもたちに対する郷土教育は、今後の人生に対する希望と目標を与えるためのものであり、教育的効果は高いと思われる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を効果的に行っている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため多くの講座が中止となり、期待した効果は得られなかった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。ただし、土曜講座、まちなか博士サポート講座等、内部講師でありかつ材料費等の費用もかからないものは無料としている。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う多くの講座の中止で、コストバランスが悪化した。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う多くの講座の中止で、コストバランスが悪化したものの、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するため、今後も講座を計画し、学校教育との連携・支援について積極的に調整を図りながら、効果的に開催していく。

事業評価シート

番号 0660090 - 004

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の芸術文化的な魅力を全国に発信する拠点施設として、観光面での大きな役割を果たす。	
事業の内容	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を展示し画業を顕彰する。 第2展示室において、地元で活躍する画家・作家グループなどの作品を展示する。	
事業の対象	何を	加藤栄三・東一両画伯およびふるさと岐阜にゆかりのある作家の作品を紹介
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民および市外からの観光客
	どのくらい (具体的数値で)	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日
令和2年度 (実施内容)	第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を紹介する企画展を5回開催した。 第2展示室において、地元で活躍している画家や作家グループなどの作品を紹介する企画展を8回開催した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム(嘱託職員)	7,519	730	7,592	730	7,519	730
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,519	730	7,592	730	7,519	730

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		12,103	10,646	11,689
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	ポスター等印刷	1,655	1,866	1,597
	作品輸送業務委託	2,847	1,716	2,157
	会場構成業務委託	807	338	359
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,103	10,646	11,689

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	19,622	18,238	19,208

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	107
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	671	639	389
その他	1,109	1,201	1,039
計(F)	1,780	1,840	1,535

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	17,842	16,398	17,673

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客	岐阜市民および市外からの観光客
受益者数	7,706	8,866	4,655
受益者負担額(千円)	671	639	389
受益者負担率(%)	3.4%	3.5%	2.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,315	1,850	3,797

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	13	13	13
実績値	13	13	13

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	12,000	12,000	15,000
実績値	7,706	8,866	4,655
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国レベルの加藤栄三・東一両画伯の作品から郷土作家の作品までそれぞれの作品を展示することで、市民文化の発展に寄与している。 加藤栄三・東一両画伯の画業顕彰はもとより、地元作家を発掘し芸術活動を顕彰する場の提供は、専門知識を有し、地元の事情に精通し、調査から展示までを一貫して行うことが必要のため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	絵画を中心に全国レベルの郷土作家の作品を紹介し、費用以上の内容の展覧会を開催している。 市立美術館という公共性が背景にあって、レベルの高い展覧会の開催が可能となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力为全国に発信するという独自のコンセプトにより、観光面での大きな役割を果たすことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与し、さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力为全国に発信する独自のコンセプトによる拠点施設として、観光面での大きな役割を果たしてきた。 一方、加藤栄三・東一両画伯をはじめ郷土作家を中心とする資料を中心に収集・保存している。

事業評価シート

番号 0660090 - 005

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。	
事業の内容	絹絵・版画教室および親子絵画教室の開催	
事業の 対象	何を	芸術文化に親しみ、自ら学ぶための機会の提供
	誰に (対象者・対 象者数)	市民全般
	どのくらい (具体的 数値で)	3講座
令和2年度 (実施内容)	「絹絵教室」(5日間)、「親子絵画教室」(1日間)、「版画教室」(5日間)及び大河ドラマ放映に合わせ、エントランスで開催予定だった「道三公の体験工房」(3講座)が、すべて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となった。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム(嘱託職員)	515	50	520	50	515	50
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	515	50	520	50	515	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		260	726	49
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	講師謝金	230	230	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		260	726	49

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	775	1,246	564

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	131	165	49
計(F)	131	165	49

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	644	1,081	515

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民全般	岐阜市民全般	岐阜市民全般
受益者数	89	183	0
受益者負担額(千円)	131	165	0
受益者負担率(%)	16.9%	13.2%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7,236	5,907	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3	3	3
実績値	3	4	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座のべ参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	450	450	450
実績値	328	467	0
達成状況	×(未達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民が芸術文化に親しみ、スキルアップを図るための講座であり、市民・社会のニーズに応えている。 専門家を講師に迎え、芸術文化への入り口および技術面で初級者の段階の市民のスキルアップを図る講座であり、広く市民を対象にした講座であるため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	講座修了生がより高いレベルの芸術鑑賞者となることが期待でき、市の芸術文化の水準向上が効率的にできると考えられる。 専門性を持たせつつ、広く市民に聞かれた講座とするためには、市が主催することが適当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となり、期待した効果は得られなかった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったが、市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、今後も事業を継続する。